



# いもうと けら 妹☆孕ませつくす

沖田和彦

illustration・熊虎たつみ  
原作・Parthenon



ぶちばら文庫



だりで……私は、お嬢ちゃんのオモチャだもん……  
小さじはび、このオッパイも、オマンコも……  
みんなお嬢ちゃんのだもん

ひこうり、お兄様……ん、なんない……  
イッたばからなにこうこうが、るべからず  
感じすきぢやりますうわうわ



「だ、出してえつ！ 出してつ！ わたひをトイレにしていいでしゅよつ！ じぶんじぶつて、セーエキでいっぱいにしてえええつ！」  
「うおおおおおつ！」

雄叫びをあげ、突き出された尻穴に精液を注ぎ込んだ。

その刺激で、コエルも絶頂に達していた。

「ふえええ……わたし……お尻でえ、イッちゃいましたああ」

魂が飛んでしまったような表情だ。

「ふるつ、ぶるぶるつ、とお尻がわなないでいる。するり、と放出を終えたペニスを引き抜いた。

「ぼつかりとアヌスに穴が空いている。激しく使われたせいで、すぐには閉じないようだつた。ひく、ひく、と括約筋が痙攣しだす。とぶつ、と白濁した液体が漏れた。

「お兄様のセーエキ……出ちやううう……」

小窓から差し込む光で、薄暗い室内に舞う埃がキラキラと輝く。

学校の体育倉庫だった。

「あつ……また、お兄ちゃんの……中で大きくなってきてるう」

甘えるような妹の声を聞くだけで、新鮮な精液がチャージされていく。

護は、剥き出しの可愛いお尻をなでまわした。

「珊が、まだほしそうな顔をしてるから悪いんだぞ？」

「そ、そんなこと……一日に何回も出さないと我慢できない最低お兄ちゃんのくせに！それから、私にスクール水着とか着せて興奮する変態だしい……あ、あと、こんなところで実の妹を犯しちゃうしい！」

憎まれ口さえ、もはや愛の言葉だった。  
 「珊だつて、イツたばかりなのに、俺のをオマンコが放してくれないじやないか？」  
 「うう……」

珊は押し黙ってしまった。

虚勢を張つても、身体は正直だ。

「だつて……私がこんなにびぢやびぢやになるの、お兄ちゃんだけなんだからね？ 誰でもいいつてわけじゃないんだから……それに、お兄ちゃんが、私をこんなにエッチな身体にしたんだからね！」

それは護にも否定できなかつた。

日に日に妹への愛情が増していく、理性のリミッターが壊れやすくなつてている。

妹の姿が視界に入っただけで、いつでも欲情できる自信がある。場所も時間も関係なく、ところかまわずヤリたかつた。

実際に、プール場のシャワー室でスクール水着のまま失禁するほど指ピストンしたり、放課後の珊のクラスで繋がつたり、図書室の片隅でフェラチオさせたり、授業中に呼び出して男子トイレで犯したこともあつた。

「だから、こうして責任どつてるじやないか？」  
 「んんっ……あつ、あつ、やだあ！」

護が腰を前後させるど、マットをかきむしるようすは聞えた。

珊は、体操服姿だった。

はつ、はつ、と息を弾ませて、体操マットの上で四つん這いになつてゐる。ブルマとシヨーツを太ももまで引き下げていた。

今日は今日で、体育が終わつたばかりの妹を教室の窓から見かけてしまつた。

汗で透けた体操服と蒸れたブルマの中身を想像しただけで劣情をもよおしてしまい、次の授業をサボつて体育倉庫に引つ張り込んだのだ。

「こんなにグショグショにして、しようがない子だな」

護の腰は、ゆで卵のようにツルンと剥かれた尻と後ろから繫がつてゐる。

花弁を貫いて、淫らな音をたてながら肉棒を出入りさせていた。ぐちゅつ、ぐちゅつ、ぐちゅつ、と速度をアップしていく。

「うううう、こんなところで、お兄ちゃんのオモチャにされてえ……イッたばかりなのにいい、さ、さつきより気持ちよくなつてるう……やあつ、奥をズンズン突いたらあ……んつ、ひつ、ひうつ……頭がエッチなことでいっぱいになつて……！」

授業で健康的な汗をかいた身体は、激しいセックスでさらに汗だくになつてゐる。

甘酸っぱくて香しい少女の体臭が立ち上つていて。すでに一発炸裂させているから、結合部の隙間から白濁の汁がかき出される。膣内で空



気と混ざり、ぶくぶくと泡立っていた。

「だ、大好きい……お兄ちゃん、大好きいいいつ」

「俺も……大好きだよ！」

んつ、んつ、と珊瑚は自分からスレンダーな身体を前後に揺すりはじめた。

「お、お兄ちゃんのオチンチンで……オナニーしてるとみたいいっ」

ささやかな膨らみの乳房は揺れないが、屹立した乳首が白い体操服にぱっちりと二つとも浮いて、興奮の強さを主張していた。

「ど、どう？　お兄ちゃんも気持ちいい？」

「ああ、気持ちいいよ。珊瑚のオマンコでしごかれて……くうつ」

うにゅう、と嬉しそうに珊瑚は眼を細めた。

「私たちって……きっと、身体の相性……最高なんだよね？　だ、だつて、お兄ちゃんのオチンチン……ちょうどオマンコの奥に……んつ、届いてえ……気持ちいいところも、ぜんぶあたつてええつ」

ぶるつ、と下半身が悦びに震えた。

護は、妹の身体を反転させ、正面から抱きあう形になつた。

「あううつ……オマンコ、中でねじれて……しゅごいいっ」

しなやかな腕が、護の首に絡みついた。

ぎゅつ、と抱きつかれる。

妹は唇を重ねてきた。自分から果敢に舌を入れてくる。ねち、くちゅ、と絡みあう。ちゅるちゅるうつ、と護は甘い唾液をすすつた。

「あ、あふう……」

唇が離れ、唾液が口の端から滴る。

「キ、キスして……舌とか絡めるとお、この人だあつて胸の奥がドキドキするの……生まれたときから、私のヴァーチン捧げる運命だつたんだつて……」

妹は瞳を潤ませ、幸せそうに微笑んでいた。

「さ、珊瑚……！」

健気な言葉に、護の獸欲もいよいよ猛つた。

そんな都合のいい運命はあるはずがない。

しかし、今だけは信じたかった。

合体したまま、んしょつ、と珊瑚の上半身を起こした。抱っこするようなスタイルになり、ずんつ、と丸い尻が落ちる。

「んああつ……先っぽが……子宫に刺さっちゃうううつ」

幼子をあやすように、妹の身体をゆすつた。

「あつ、あんつ、あつ……オマンコの奥がピクッピクッて……こ、これ、気持ちいいのお

……か、軽くイッちやつてるのおおつ」

ぐちゅぐちゅ突き入れながら、護は苦笑した。

「ほんとエッチな子になつたな、珊は」

「エ、エッチな子でもいいもんつ」

喘ぎながらも、珊は憎まれ口を叩いた。

「ちよつと前まで処女だつたのにい、オマンコの中に、もう指が一本も入るようになつたのも……お兄ちゃんのせいだから……こんなに気持ちよくなつて、変態みたいに喘ぐようになったのもお……あつ、あううつ」

妹の尻に指を食い込ませ、護はアヌスの窪みをさぐつた。

「そ、そこ……ダメえ……やらああつ」

珊は腰をふつたが、護は指を外さなかつた。

「だいじょうぶ。ほら、力を抜いて」

可憐な窄まりに中指をあて、つぶ、と先をめり込ませる。

「ゆ、指なんて入れたら……やだつて……あつ、ああ……入つてくる……洗つてないから、汚いのにい……それ以上はダメええつ」

「珊のだから、汚くなんかないよ?」

護の指は、第一関節まで侵入していた。

くにくにとほぐすように動かすと、あんつ、と珊は切なそうに身悶えした。

「お、お兄ちゃんの……！」

「俺がどうしたつて？」

琥珀色の粘膜をめくるように、妹のお尻の穴をほじくりながら護は訊いた。

「お兄ちゃんの……変態……！」

恥ずかしさのあまり、珊は涙目になつていて。

「でも……れ、れもお……お兄ちゃん、大しゅきい……！」

「嬉しいよ、珊」

胸が熱くなり、護は強く腰を突き上げていく。

打ち込むたびに、きゅんつ、きゅんつ、と括約筋が締まる。膣穴も連動していた。指で

アヌスを浅くえぐり、肉棒でヴァギナを深く貫いた。

護も珊も、脳が沸騰するような快楽に痺れた。

「いつ、いっぱい責めて……いつもみたいに、意地悪して……わたし……い、いいの

お……お兄ちゃんのオモチャでいいのおおつ……だから、もつと突き上げてええつ」

羞恥の涙が喜悦の涙にスライドしていた。

丸いお尻が上下に弾む。

びたんつ、びたんつ、と愛液をはね散らして肉が衝突した。

ぶちばら文庫

# 妹孕ませつくす

(いもうとはらませつくす)

2011年 4月 14日 初版第1刷 発行

■著 者 沖田和彦  
■イラスト 熊虎たつみ  
■原 作 Parthenon

発行人：久保田裕  
発行元：株式会社パラダイム  
〒166-0011  
東京都杉並区梅里2-40-19  
ワールドビル202  
TEL 03-5306-6921

印 刷 所：中央精版印刷株式会社

本書の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などをしては、  
かたくお断りいたします。

落丁・乱丁はお取り替えいたします。

定価はカバーに表示しております。

©KAZUHIKO OKITA ©Parthenon

Printed in Japan 2011

PP017



朝からまっしり

# ミルクボット

Little Domo no Yori Hoshiteru ni  
Kotowari ni Kotonu yo! He is growing up in a phenomenal world.

好評発売中

ふたなり美少女・ハレンチに  
**ぴゅひゅ**

章ごとに移り変わる、  
パラレル・イラスト!



豪華ゲスト作家:あらいぐま・三色網戸・蜜キング

ぶちばら文庫09  
蝦沼ミナミ 著  
みさくらなんこつ他 画  
ハースニール 原作  
定価 670円(税込)

妄想暴走! お嬢様・伊織ちゃんの過激な日常  
**みさくらなんこつワールド全開!**



# 投稿少女 Uploading Girl's Works

ぶちばら文庫11  
春風葉 著  
じろう 画  
クレージュA 原作  
定価 670円(税込)

描き下ろしカットも  
新たに収録！(画:牧だいきち)



好評発売中

恥ずかしい姿、  
みんなに見てほし  
い！





好評発売中



箱入少女  
Virgin Territory



ぶちばら文庫16  
春風葉 著  
じろう 画  
クレージュA 原作  
定価 670円(税込)

Courreges A  
クレージュ エース

脅され犯され穢される。。。

# paradigm ぶちばら文庫は ライター&イラストレーターを募集中です!

「ぶちばら文庫」シリーズを盛り上げる、新たな作家を募集いたします。「ぶちばら文庫」は、ゲームノベライズだけでなく、オリジナル創作による美少女小説も刊行予定です。応募規定は、それぞれ以下のようになります。皆様のご応募をお待ちしております！

## 1. 募集内容

「ぶちばら文庫」シリーズでは、美少女ゲームやライトノベルを好む読者層へ向けた作品作りを目指しています。ご応募いただく場合も、ヒロインの個性や魅力が伝わるようなもの、シチュエーションへのこだわりが感じられるものなど、はっきりしたテーマのある作品をお願いいたします。題材はとくに限定していません。発表済か、未発表作品かも問いません。

## 2. 送付方法

小説の場合は、テキストデータをメールでご応募ください。コミックやイラストは、原稿用紙をお送りいただきても、データをお送りいただいても結構です。データが5MB以上の場合は、ファイル転送サービスなどをご利用ください。コミックには枚数の規定はありません。小説は1ページを17行×40文字として、50ページ以上の作品をお送りください。

## 3. 選考結果などについて

メールでご応募いただいた場合は、着信のご連絡は必ず行っています。選考は隨時行っており、締め切りはとくにございません。選考終了後、採用の方にのみ別途お返事をしております。通常はお返事までに、2週間～1か月ほどお時間がかかります。

## 4. 作品の送付先

ご郵送の場合は下記住所までお送りください。メールでのご応募は以下のアドレスで受け付けております。どちらの場合も必ず「お名前、年齢、ご職業、ご住所、電話番号」を書いた紙を同封するか、明記してください。メールの宛先: [desk@parabook.co.jp](mailto:desk@parabook.co.jp)

〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-19 ワールドビル202  
株式会社パラダイム 「ぶちばら文庫作品応募」係

※ご応募の際の個人情報は、選考結果のご連絡にのみ使用いたします。

作品のご返却を希望の場合は、宛名を書いた返信用封筒と切手を同封してください。